

# SDGs

## 貧困と格差社会 Poverty & Disparity

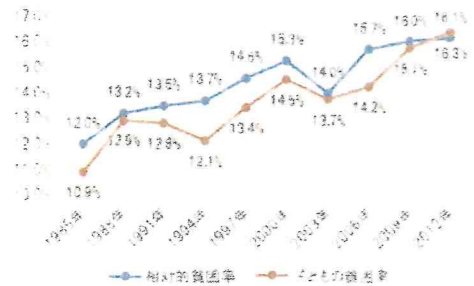


図 1.1-1 相対的貧困と子ども貧困率の推移

出典：厚生労働省 (2014) 『平成 25 年 国民生活基礎調査の概況』より筆者作成

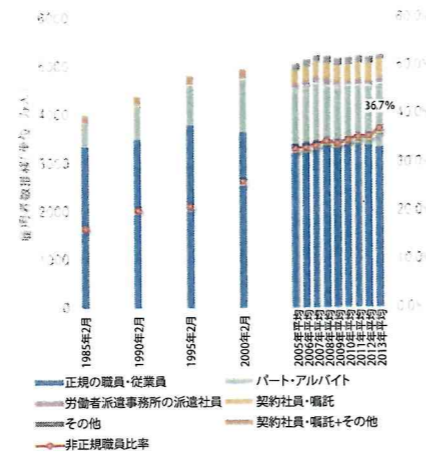


図 1.1-3 雇用形態別（役員を除く）雇用者数の推移

出典：内閣府 (2015) 『仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) レポート 2014』より筆者作成

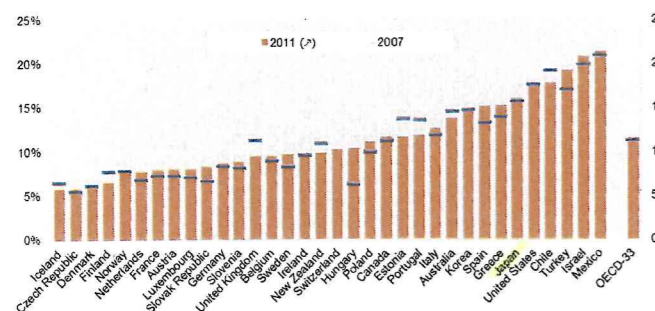


図 1.1-2 OECD 諸国の相対的貧困率(2007年, 2011年)

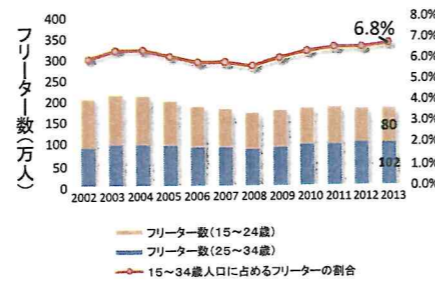


図 1.1-4 フリーター数の推移

出典：内閣府 (2015) 『仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) レポート 2014』より筆者作成

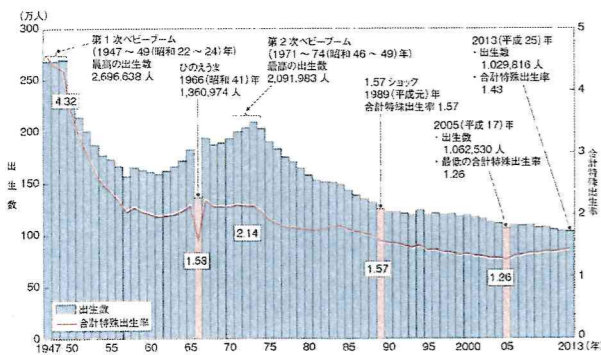


図 1.2-1 日本の合計特殊出生率・出生数推移

出典：内閣府 (2015) 『平成 27 年版少子化対策白書』

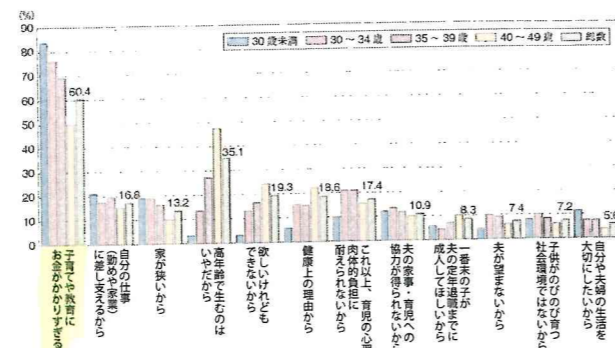


図 1.2-2 妻の年齢別にみた理想の子供数を持たない理由

出典：内閣府 (2015) 『平成 27 年版少子化対策白書』

Solution

国内目標に  
向けた処方箋

国際貢献目標に  
向けた処方箋

- A. 2030 年までに日本の相対的貧困率、子ども貧困率を X% 以下にする。
- B. 2020 年までにフリーター数を 2003 年の 217 万人から 124 万人以下にし (出典 6)、2030 年には X 人以下にする。
- C. 2030 年までに、年齢や障害者、男女等の区別なく、同一労働同一賃金を達成する (SDG8.5)。
  - a. 貧困層および脆弱層に対する社会保障制度の確立を支援する。
  - b. 2030 年までに性と生殖に関するヘルスケアをすべての人々が利用できるよう支援する。
  - c. 財政、資金および社会保障政策をはじめとする政策導入を支援し、平等の拡大に貢献する。
  - d. 2030 年までにすべての人々に出生登録を含む法的な身分証明を提供する。
  - e. 2025 年までに児童就労問題 (少年兵の徴募や利用を含む) の終焉に貢献する。



和にちてできること

- ① 子ども食堂や、支援を行っている団体でのボランティア
- ② 自分の貧困層にはいかにして将来に向けた人生の計画をする